

令和 2年 8月 20日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)
〒106-0032
住所 東京都港区六本木4-1-16六本木ハイツ1F
事業者名 フランスベッド株式会社
担当者所属 法人企画部 法人企画課
担当者名 千頭和 重基
電話番号 03-6741-5555
電子メールアドレス chizuwa_shigeki@francebed.jp

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「**介護ロボット等モニター調査事業**」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

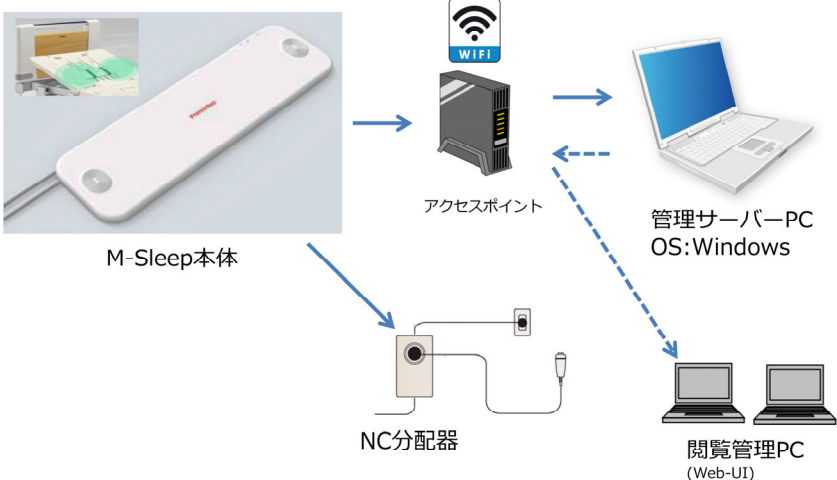
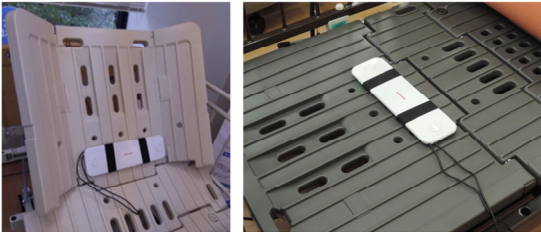
介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名	フランスベッド株式会社	
担当者名	千頭和 重基	
担当者連絡先	住所	〒106-0032 東京都港区六本木4-1-16
	電話	03-5549-2936
	電子メールアドレス	chizuwa_shigeki@francebed.jp
主たる業種	介護関連商品の製造販売および福祉用具貸与事業の展開	
主要な製品	介護ベッド、車いす、歩行器	
希望する施設等の種類や職種等	☒ 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム ☒ 介護老人保健施設：老人保健施設 ☐ 認知症対応型共同生活介護：グループホーム ☒ ☐ 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム ☐ 居宅介護サービス：訪問介護、看護、リハ、福祉用具貸与サービス事業者 等 ☐ 医療機関：病院、診療所、リハビリテーションセンター 等 ☐ その他：（ ）	
希望施設に ☒ を入れてください 複数選択可		
その他の希望	東京都、神奈川県（関東圏エリア）で眠り解析センサー未使用施設あれば希望。	

2. 申請機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	眠り解析センサーM-Sleep
機器の概要 （写真を添付すること）	<u>想定する使用者、使用場面</u> 睡眠状況（夜間状態）を把握したい方対象。 状況把握により夜間介護負担の軽減につなげる。（排泄ケア、訪室回数削減など） また利用者の生活習慣（昼夜逆転など）の改善を図る。
	<u>機能と使用方法、有用性</u> 介護現場における夜間の介護では職員の負荷も高く、入居者の睡眠時の身体状態の管理の仕組みは、職員の負荷軽減という面からも重要な要素の一つです。 「眠り解析センサー M-Sleep」は、利用者の睡眠状態と利用者のベッド上での状態をモニタリングすることができます。 マットレスと床板の間に設置したセンサー（非接触）が、利用者のバイタルデータを計測し、WiFiを経由して管理システムに送ります。 取得した利用者の睡眠状況や生活状況のデータを、業務効率の改善に役立てることができます。各状況把握により、不要な接触の減少も図れます。（感染対策） レポートにて利用者状態（状況）のまとめ表示が可能なため、生活習慣の改善活用にも利用可能です。

	(図 1. 機器の構成)  類似する機器との相違 センサーハード部がコンパクトな設計により、当社ベッドだけでなく他社ベッドにも使用可能で、付加機能ベッド（当社：サイドアップ機構、寝返り支援ベッド）にも使用可能です。  当該機器と介護業務との関連性 ステーションのPC等にて、機器設置利用者の状態把握がリアルタイムで可能です。夜間帯における職員様の介護ケア及び心理的負担を軽減します。またレポート作成機能により、利用者様の特性把握が可能です。
現在の開発状況と課題	<u>機器に関するリスクアセスメント</u>（性能安全と利用安全の確保対策） ※アセスメント結果を添付して下さい。 社内で設けている基準に沿ったリスクアセスメントを実施しております。 <u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。 特になし <u>開発に関する当面の課題</u> 現在、プロトタイプが完成しています。しかし、実際に現場で使用するにあたっての利用効果と使い勝手の検証を行うことが課題です。特に、本機器の利用により施設スタッフの介護負担の軽減につながる、機器の操作や各種データ表示は簡単に介護現場確認し、今後の改良に活かしていきたいと考えています。

3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	本調査では、本機器の活用が介護職員の夜間の介護負担の軽減に役立つことを検証することをねらいとします。 機器の導入前後の比較評価を行い、夜間の訪室回数の削減、利用者の覚醒状況に合わせた排泄ケアの改善等に有用であるかを確認します。また、介護職員が睡眠センサーを活用したケアを行うことで、利用者の生活リズムや状態の改善の一助になりうるかを検証します。
------------------	--

2. 調査概要	1) 調査対象：施設入居者5名および介護職員 対象となる施設入居者は下記を想定しています。 ・認知機能や身体機能の低下した方。 ・ナースコールを自分で押せない方。 ・夜間の尿失禁改善が必要な方。 ・夜間の訪室回数が頻回である方。 ・昼夜逆転など、睡眠リズムに問題を抱えている方。 2) 調査したい場面、場所：居室・ナースステーション 3) 調査期間（日数）：2～3か月間（導入前1か月～1.5か月、導入後1か月～1.5か月） 4) 機器の台数：5台 導入前1か月～1.5か月 ベースライン取得 モニタリングなしで、利用者の睡眠 状況を把握する 【取得データ】 ・Zarit介護負担感尺度 ・訪室回数 ・排泄ケア ・介護記録による利用者の状態 ・（睡眠計による計測） → 導入後1か月～1.5か月 導入後の変化を取得 モニタリング機能を活用して、ケアを 行う。 【取得データ】 ・Zarit介護負担感尺度 ・訪室回数 ・排泄ケア ・介護記録による利用者の状態 ・（睡眠計による計測）
---------	--

4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP 8～9を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関する こと	【調査手法】 ☐観察法 ☒インタビュー法 ☒質問紙法 ☐その他： 【想定する調査方法】 介護職員を対象に、「眠り解析センサー M-Sleep」の対象者と適用範囲、及び禁忌事項について質問紙およびインタビューにより調査を行います。
2. 利用環境の条件 に関すること	【調査手法】 ☐観察法 ☐インタビュー法 ☐質問紙法 ☐その他： 特になし 【想定する調査方法】 特になし
3. 機器の利用効果 に関すること	【調査手法】 ☒観察法 ☒インタビュー法 ☒質問紙法 ☐その他： 【想定する調査方法】 利用者と介護職員を対象とした、「眠り解析センサー M-Sleep」の導入前後の比較調査により、機器の利用効果を評価します。モニター調査対象者の禁忌として下記を想定しております。 ・ペースメーカーを使用している方 ・エアマットレスと合わせての使用 ・電気毛布等の温熱器具と合わせての使用

	夜間の介護量の削減 ・ 訪室回数の導入前後の比較 ・ トイレ誘導の回数等の排泄ケアの導入前後の比較 1. 介護負担感の軽減 ・ Zarit介護負担感尺度（パーソナル因子のみ）による導入前後の点数の比較 参考データとして、利用者の心身状態への影響を睡眠計のデータとヒアリングを実施し調査します。 ・ 睡眠計による睡眠の質の導入前後の比較 ・ 介護記録による夜間と日中の利用者の状態の導入前後の比較
4. 機器の使い勝手に関する事	【調査手法】 ☐観察法 ☒インタビュー法 ☒質問紙法 ☐その他： 【想定する調査方法】 介護職員を対象に、「眠り解析センサー M-Sleep」の導入前後の比較調査により、機器の使い勝手を質問紙およびインタビューにより以下の内容を評価します。 導入時に簡易マニュアルを配布の上実施します。 1. 直感的に理解し、使い方をすぐに身につけられる 2. SUS（満足度調査）
5. 介護現場での利用の継続性に関する事	【調査手法】 ☐観察法 ☒インタビュー法 ☒質問紙法 ☐その他： 【想定する調査方法】 介護職員を対象に、「眠り解析センサー M-Sleep」の導入前後の比較調査による機器の継続性について質問紙およびインタビューにより以下の内容を調査します。 1. 継続利用の希望の有無 2. 継続にあたっての要望等
6. その他	特になし

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

いままでなかった毎日をつくる。

フランスベッド

COMPANY PROFILE

創造と革新により、
「豊かさとやさしさ」のある
暮らしの実現に貢献する
ヒューマンカンパニーを目指します。

世界的に急速に進展する高齢化へ向けて、 豊かさとやさしさのある暮らしを実現します。

平均寿命、高齢化率、高齢化速度とも諸外国に比べて最も高い水準にある日本は、世界一の高齢社会を形成しています。

この高齢社会の中でますますニーズが高まる介護・医療・健康関連などの分野において、私たちは、暮らしを支え、人生を豊かにするような商品やサービスを開発するため、製販一貫体制を活かして日々取り組んでいます。

今後、日本につづいて高齢化率の高いヨーロッパ諸国や、高齢化が急速に進むアジア諸国などにも通用する世界標準化を目指すとともに、「豊かさとやさしさのある」高齢社会の実現に貢献してまいります。

フランスベッド株式会社
代表取締役社長

池田 茂



いままでなかった毎日をつくってきた、
フランスベッド。

● 1949年 はじまりは1949年、「双葉製作所」。

1949年（昭和24年）創業者の池田實は東京都三鷹市に小さな町工場「双葉製作所」を設立しました。スクーター用シートの製造を開始した、この会社が現在のフランスベッド株式会社のはじまりです。



● 1956年 日本初の分割式ベッドづくりに成功。インテリア事業のはじまり。

1956年（昭和31年）当時は珍しかったベッドづくりに挑戦するため、欧米のベッドづくりを猛勉強しました。骨格や生活様式の違いなど、日本人と欧米人の違いに気づき、必要なのは日本人に合うベッドだと考え、すすめられたベッドづくり。ふとん文化が主だったこの時代に前例のないゼロからのベッドづくりは見事に成功、日本初の分割式ベッド「フランスベッド」が誕生しました。戦後まだ洋風の生活様式が浸透していなかった日本に、若者たちを中心に生活の洋風化が進む時代の先駆けとして、ベッドのある生活を持ち込み日本全国に浸透させました。フランスベッドが、ベッドのパイオニアとなった瞬間でした。これが、現在のインテリア事業のはじまりでした。



なぜ、
フランスベッドという
社名なのか？

フランスに関係する会社と思われることも多いですが、日本の会社であるフランスベッド。なぜこの社名になったのでしょうか？これは、もともと日本初の分割式ベッドができたとき、商品名を社内公募で「フランスベッド」と名付けたことがきっかけでした。当時は、海外旅行が自由化する前で、映画やファッションを通じて知る「フランス」は憧れの場所でした。ということもあり、「フランスベッド」は大ヒット。後に会社名として使用されるまでになりました。

● 1983年 福祉用具レンタルをはじめたのもフランスベッド。

1983年（昭和58年）福祉用具レンタルをはじめたのもフランスベッドでした。きっかけは「介護用ベッドを使っていた母が亡くなったのでベッドを引き取ってもらえませんか？」という購入した療養ベッドが3ヶ月で不要となったお客様からの相談でした。「必要な期間だけレンタルする」という今では当たり前になった福祉用具のレンタルを介護保険制度が始まる20年以上も前から日本で初めてスタートさせていたのです。また保険制度制定時には、福祉用具が介護保険の適用になるように働きかけ、介護保険で福祉用具をレンタルできる環境を作ったのもフランスベッドでした。これが、現在のメディカル事業（当時のフランスベッドメディカルサービス株式会社）のはじまりとなっています。



● 2004年 フランスベッドホールディングスを設立。

2004年（平成16年）インテリア健康事業とメディカルサービス事業、それぞれの経営資源を有効活用し、更なる発展を図るためにグループ経営をスタートさせました。純粋持株会社フランスベッドホールディングス株式会社を設立し、フランスベッドに代わって、東証一部に上場しました。



フランスベッドホールディングス株式会社
FRANCE BED HOLDINGS CO., LTD.

● 2009年 2つの会社がひとつのフランスベッドへ。

2009年（平成21年）インテリア健康事業、メディカルサービス事業の両分野において、商品開発力を一層強化し、お客様にとってよりよい商品、サービスを提供していくために、フランスベッドとフランスベッドメディカルサービスを合併。「新フランスベッド」として新たなスタートをきりました。

フランスベッド

● 2011年 アクティブシニア向けブランド「リハテック」発表。

2011年（平成23年）毎日の生活をより活動的に快適にするために。高齢者の日常生活と健康を応援するブランド「リハテック」が生まれました。

リハテック
Reha tech

ものづくりからサービスまで、
一貫して行えること。それがフランスベッドの強み。



フランスベッドの事業領域は、メディカル、インテリア、リハテックの各事業を通じて、ものづくりから、販売、レンタル、ショールームやネットショップの運営、ホテルインテリアのプロデュースなどのサービスまで多岐にわたります。幅広い事業領域で、ものづくりからサービスまで一貫して行えること、それがフランスベッドの強みです。





福祉用具のレンタルから住宅改修サービスまで在宅ケアを多角的にサポート。

フランスベッドでは、福祉用具や在宅医療機器のレンタル及び販売を、経験豊かな専門スタッフを介して行っています。また、住宅改修サービスのご提供など、より快適な在宅ケアをサポートするサービスを多角的に展開しています。



福祉用具レンタル・販売

安心してお使いいただける良質な商品を幅広く取り揃え、経験豊かな福祉用具専門相談員がおひとりおひとりに適した商品選びをお手伝いしています。



在宅医療機器レンタル・販売

住み慣れた家庭や地域で在宅療養される方やご家族が、快適に自分らしく前向きに生活できるようお手伝いしています。



住宅改修サービス

手すりの取り付けから大がかりな住宅改修まで、自立や安全性の向上をベースとしたリフォームをご提供しています。

医療・福祉施設の安全で快適な環境づくりをお手伝いします。

フランスベッドでは、医療・福祉施設のお客様からの安全に対するご要望を踏まえ、製品のさらなる安全性の向上を図る設計・開発に全力をあげています。また、いち早く医療・介護ベッドに家庭的なデザインや素材を取り入れ、従来無機質であった医療・福祉施設の空間に温かみを添えてきました。療養生活においてインテリアが与える心理的な効果にも配慮し、より質の高い医療・福祉環境の実現をお手伝いいたします。

医療施設 向けの製品



福祉施設 向けの製品



安全快適な 空間づくりの 提案



【多床室提案】 コミュニケーションとプライバシーの両立に配慮した多床室をご提案。



【個室・特別室提案】 温かみがあり、心から寛げ、治療の効果にも配慮した個室・特別室をご提案。



【ロビー・食堂空間】 スペース、人数、動線などに配慮した利便性の高いロビー・食堂空間をご提案。

医療・福祉施設の衛生と安全をサポートするリネンサプライ事業。

フランスベッドでは、医療・福祉施設に清潔で安全なリネンを提供するサービスを行っています。すべてのリネンは、消毒施設を完備したクリーニング工場で迅速・丁寧に仕上げています。工場は厳しい衛生基準を満たし、「医療関連サービスマーク認定工場」に指定されています。最も衛生が要求される医療・福祉施設向けリネンをここからお届けしています。



リハテックショップ

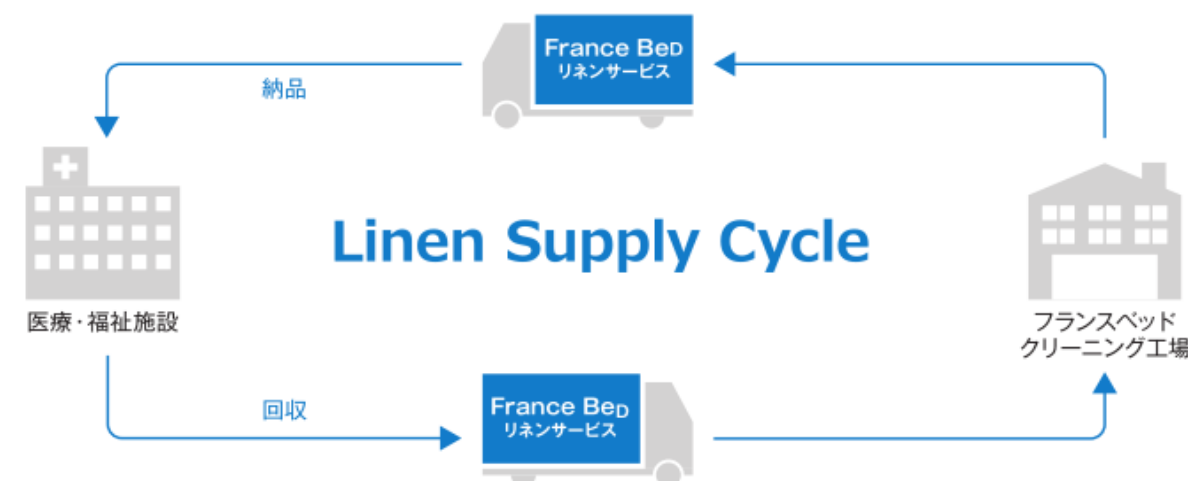
シニアの皆さまの活動的な毎日をサポートし、生活の質や自立度を高めていく「リハテック」ブランドの商品を中心に展示販売。介護や住宅リフォームなどのご相談も承っています。



ネット通販ショップ

「介護レンタル.com」「介護宅配便」

介護用品のレンタル・販売をインターネットから、いつでも簡単にご注文いただけるサービスを展開しています。



フランスベッド、だからできる ものづくり。

メディカル・リハテック・医療・福祉施設

ベッドが使う人のカラダにあわせる、という発想。



「マルチフィットベッド」

使う人のカラダに合わせることが可能な、フィッティングをコンセプトにした「マルチフィットベッド」。今までなかった、ベッドが人にあわせるという新しい考え方から生まれました。機能性とシンプルなデザインを両立した介護ベッドとして、1台のベッドで利用者の身長やお部屋の大きさに合わせてマットレスサイズを3サイズに調整できるマルチフィットボトムを採用しました。使う人のことをいちばんに考えることで、これまでなかった製品を生み出しました。

介護する人、される人の両方をラクにしたいという想い。



「自動寝返り支援ベッド」

「自動寝返り支援ベッド」は介護する人、される人の両方をラクにしたいという想いから誕生しました。

介護する人にとって寝たきりの方の床ずれ予防のために、昼夜問わずに体位変換をすることがとても身体的に負担になっていました。逆に介護される人にとっては、体位変換の度に目が覚めることが多く睡眠の妨げになっていました。それぞれのこの負担を解消するために「自動寝返り支援ベッド」を開発。タイマー設定による自動運転で寝返りサポート、体位変換をベッドに任せることで想いをかなえることができました。

どうすれば転ばないようになるか、常識を変えた車イス。



「転ばないイス」

どのようにしたら前に転ばないのか、後ろにひっくり返らないのかを考え抜いてできた車イス、「転ばないイス」。

ブレーキをかけ忘れたまま立ち上がっても、自動的にブレーキがかかるので、後方への転倒も予防。また、解除しない限りブレーキはかかったままなので、急に座っても安心。認知症により自身のリスク管理が難しい方の安全を守るとともに、介護者の不安や負担を軽減します。

「人にやさしい」ものづくりから生まれたブランド、リハテック。

リハテック
Reha tech

毎日の生活をより活動的に快適にするために。安心、安全、使いやすい。
高齢者の日常生活と健康を応援するブランド「リハテック」は生まれました。



医療・福祉施設向け製品の開発。

医療・福祉施設での安全やリスク対策はもとより、看護・介護負担軽減や離床促進・自立支援などの高機能製品、リハビリ支援や認知症向けの製品、そして快適な療養空間づくりまでを行っています。

ベッドが療養者の状態を見守ることで介助負担を軽減する、ベッド内蔵型の見守りロボット「見守りケアシステム M-2」。誤って転落した場合のリスクを軽減する「超・超低床フロアーベッド」など医療・福祉施設向けの様々な製品を開発しています。



「見守りケアシステム M-2」をベッドに内蔵



超・超低床フロアーベッド



家具インテリア業界のトップメーカーとして暮らしのお手伝いを。

フランスベッドでは、快適な眠りをお届けするベッドはもちろん、リビングソファ、ダイニングセットといったインテリア家具全般から健康機器まで、豊かで健康的な生活を演出する付加価値の高い製品を開発しています。家具インテリア業界のトップメーカーとして、国内のみならず海外市場も視野に入れ、健康や睡眠、ライフスタイル、環境への配慮など、様々な視点から高付加価値製品を消費者市場に提案し、豊かさを実感していただける暮らしのお手伝いをしています。



【赤坂ショールーム】国内外から厳選された至高の逸品を体感。



【スランパーランド】三度の英国王室御用達の称号を授かった。



【フィアバ】本革を贅沢に使用したラグジュアリーモダンベッド。



【エルボ】ドイツを代表するソファの最高峰ブランド。



【エゼックス】インテリアになじむ洗練されたデザインのリクライニングベッド。



【海外展示会】MIFF2017 (Malaysian International Furniture Fair)

快適で上質なホテルのインテリアを、企画からトータルにプロデュース。

長年培った快適な空間づくりのノウハウを活かし、ホテルのトータルプロデュースを行います。ベッドやインテリアの納入はもちろんですが、客室やロビーのデザイン・設計・施工、インテリアのコーディネートまで、効果的な空間演出をホテルのコンセプトに合わせてプロデュースします。



ホテルソリューション事業

ホテルが抱える様々な課題を、フランスベッドの豊富な経験で解決する事業を展開しています。



ホテルベッド・レンタル事業

必要な時に、必要な分だけホテルベッドをレンタルできるサービスを全国で行っています。

フランスベッド、だからできる ものづくり。

インテリア

独自の技術で生産「高密度連続スプリング® マットレス」。

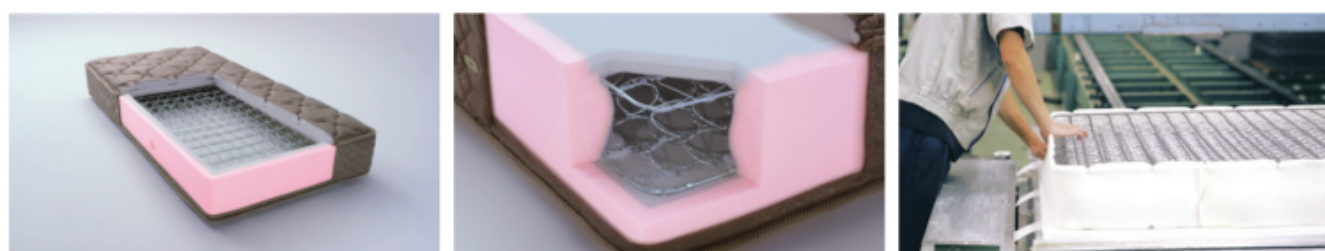
「高密度連続スプリング® マットレス」は、厳しい品質管理のもと国内で唯一、フランスベッドだけの独自の技術で生産しています。一本の銅線がつながって作られている、「高密度連続スプリング® マットレス」はカラダを広い面でしっかりと支え、寝心地のよさにつながる自然な眠りのカタチをつくります。



日本で唯一の技術、「プロ・ウォール」。



日本で唯一の技術が実現した「プロ・ウォール」。
マットレスの周囲に独自技術・コールドキュアフォーム一体形成を施すことで、強固な耐久性を確保して、マットレスの端の沈み込みを抑えることに成功しました。マットレスの面積を最大限にいかす独自技術が、これまでの眠りを超えるワンランク上の眠りへ導くことに成功しました。



設備にこだわり、国内一貫生産される羽毛ふとん「JOORYU」。



「JOORYU (じょうりゅう)」は自社で設けた高い品質基準を満たした安心と安全な羽毛ふとんです。ダウンは、ポーランド、ハンガリー、カナダ、その他良質な水鳥が育つ地域の原毛を使用し、輸入から加工までフランスベッドの静岡工場で一貫生産しています。



上質なデザイン、厳しい基準をクリアする機能性を兼ね備える「電動ベッド」。

インテリアベッドで培った上質なデザイン、そして福祉・医療の現場で安全・安心に利用していただくための厳しい基準をクリアする機能性。細部にまでこだわる日本製ならではの設計で、「電動ベッド」をつくり続けてきたフランスベッドだからこそ、両方を兼ね備えることができます。



常に、その時代に必要とされる、いままでなかったものづくりを続けています。

マットレスに除菌という新しい概念をつくる、業界初の除菌マットレス「キュリエス・エージー」の開発。飼い主とペットが家族の一員として、より心地良く暮らせる住空間作りを目指したペット向けの新ブランド「フランスペット」の立ち上げなど、常にその時代に必要とされる、ものづくりを続けています。



妥協しない、 徹底した品質、環境へのこだわり。

国内外の規格認証を取得し、安全な製品づくり。

フランスベッドの病院・介護用ベッドをつくる工場は、顧客満足の向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現するための国際規格、ISO9001や安全で有用な医療機器の継続的な製造・供給を目的とした、医療分野における品質マネジメントシステムの世界標準規格、ISO13485の取得など厳格な基準をクリアした環境でものづくりを行っています。



独自のFES規格を設け、厳格に試験を行っています。

フランスベッドでは日本の国家規格であるJIS規格よりも厳格な「FES規格」を設けています。スプリングや詰め物など製造に関するすべての素材から完成した製品にいたるまで、ひとつひとつに高い基準が設定されています。スリープ研究センターで行われる耐久性などの様々な試験を行うことで「フランスベッド品質」の安全な製品づくりが行われています。

「FES規格」= FRANCEBED ENGINEERING STANDARD

【試験項目の一例】

- ・素材のひっぱり強度試験
- ・素材のねじり試験
- ・布地の引裂試験
- ・8万回強打試験・ローリング試験・体圧分布試験



- 安心の日本製マーク
このマークのついた商品は国内工場で生産し、万全の品質管理で安心と安全をお届けします。

住環境に対する取り組み「F☆☆☆☆」。

フランスベッドでは、ホルムアルデヒドなど揮発性有機化合物の使用が厳格に規制された2005年の改正建築基準法が定める最高基準と同等の「F☆☆☆☆エフ・フォースター」を導入し、ベッドフレームや家具を製造。使用するすべての塗料、接着剤、合板などひとつひとつに証明書の提出を義務付けるなど管理を徹底しています。また、EUが施工する有害物質規制「RoHS(ローズ)指令」への対応など国内外の規格に対応した安全な製品づくりに努めています。



- 社内基準F☆☆☆☆
このマークのついた商品はフランスベッド社内基準F☆☆☆☆で作られた住環境と健康に配慮したベッドです。

日本初、エコマーク認定マットレスの開発。

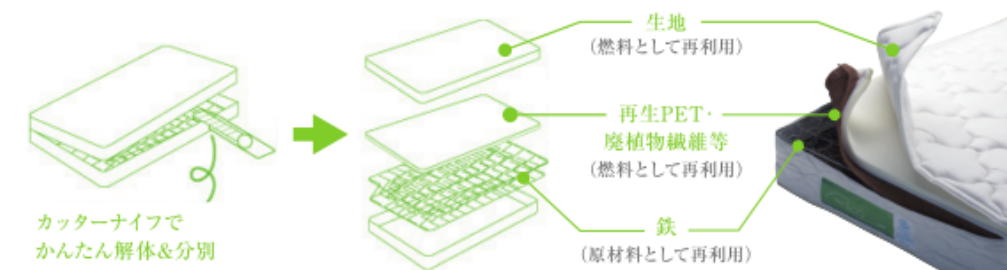
フランスベッド独自の製造技術を用いて国内工場で製造されるエコマーク認定スプリングマットレス「リコ・プラス」。廃却時に分解・分別が短時間で容易に行える構造で、スプリングや生地、詰め物それぞれがリサイクル可能。また、材料には再生PET樹脂や廃植物繊維を使用することで、資源の有効利用に配慮しています。

エコマーク認定 スプリングマットレス 「リコ・プラス」



【カッターナイフでかんたん解体&分別】

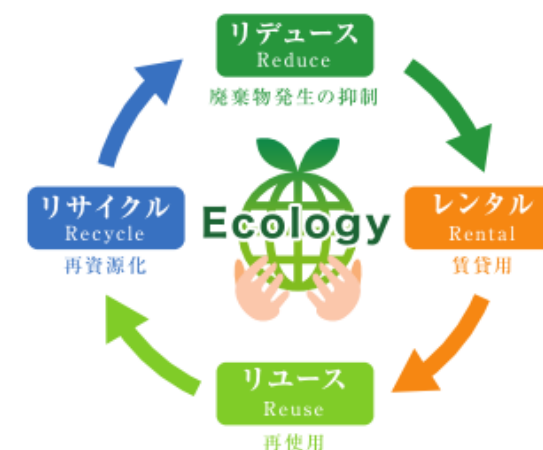
廃棄時には、マットレス側面を切るだけで簡単に解体できます。解体後、スプリングや詰め物の材料それぞれは独立しているため簡単に分別でき、すべてリサイクル可能です。



持続可能な社会への取り組み。

■フランスベッドのエコプロダクツ

循環型社会を構築していくためには、リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) の3Rが重要です。フランスベッドは、リデュース (廃棄物の発生抑制) のために、安価な使い捨て商品ではなく、長期間使っていただけるような高品質商品のご提供に努めています。リユース (再使用) を促すために、レンタル事業と中古販売を連動した取り組みによって再使用率を高めています。リサイクル (再資源化) の視点から、開発の段階からリサイクルが可能な素材を採り入れるとともに、再資源化を考慮し分解・分別しやすい構造にしています。



■破棄抑制につながるレンタルサービスを拡充

ライフスタイルや価値観の多様化と共に、生活用品を「所有」することから「使用」することに価値を見出す方が増えています。「買うより借りる」「使いたいときだけ利用する」という方が増えており、「所有」しなくても十分満足のいく生活を実感しています。また、こうした人たちのニーズに対応して、様々な業界でレンタルビジネスも急速に普及しつつあります。フランスベッドでも、生活用品を「使用」する新しいライフスタイルと価値観を持つ方のために、レンタルサービスに取り組んでいます。

【レンタルサービス展開】

- ・一般個人向け
- ・デベロッパー向け
- ・ホテル・旅館向け
- ・家具付賃貸マンション向け
- ・ハウジングメーカー向け
- ・介護医療施設向け

社会貢献活動

高齢化社会における支援活動。



公益財団法人
フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団

<http://www.fbm-zaidan.or.jp>

フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団では、在宅ケアや福祉機器等に関する事業や研究に対して助成を行うほか、講演会やシンポジウム、学会や研究会の開催などにも幅広く支援しています。また、高齢者のスポーツや文化・芸術活動等、健康づくりや生きがいづくりに関する催しへの助成や会報誌の発行を通じて、活力のある長寿社会の実現を応援しています。



研究会



講演会

後世に家具文化を伝えるために。

一般財団法人 家具の博物館

<https://www.kaguhaku.or.jp>

「家具の博物館」は、創業者の池田實の発起により、フランスベッドグループ各社の協力により1972年11月1日に開設しました。2005年にフランスベッド株式会社東京工場敷地内に移転。2011年4月1日に一般財団法人となりました。急速な住環境の変化によって、散逸しがちな家具を収集保存し、後世に伝えるために「家具の伝統-継承-創造」をテーマとして博物館活動を続けています。

収納具、照明具、暖房具、容飾具、飲食具、座臥具など収蔵資料は、1800点余り。約180点ほどを選び常時展示しています。



地域貢献として、作品展の開催。

「家具の博物館」では、毎年1回、昭島人物紹介展として所在地の昭島市で創作活動をされている作家の方の作品をご紹介します「作品展」を開催しています。



エッグアート作品展



コバークラフト作品展



ミニチュア家具作品展

案件番号
28-A05

センサー内蔵見守りケアベッドの、 直観的な操作性と介護負担感の軽減度を検証

見守り支援

「見守りケアシステムM2」センサー内蔵ベッド

機器事業者・団体

フランスベッド株式会社

営業部 企画営業課 病院施設企画室
〒163-1105 東京都新宿区西新宿 6 丁目 22-1
新宿スクエアタワー 2 階
Tel: (03) 6741-5579
HP: <http://www.francebed.co.jp/iryofukushi/index.html>

アドバイス支援実施施設

■介護付有料老人ホーム フォレスト垂水

意見交換のねらい

高機能見守りベッドを 直観的に使いこなせるかを確認

センサー内蔵見守りケアベッド「見守りケアシステムM2」は、現行モデルのベッド内臓離床センサー「見守りケアシステムM1」に体重測定とアラーム履歴表示、無線LAN対応等の追加機能を加え見守る側、見守られる側双方の負担軽減により役立つ改良を行ったベッドである。

実際の現場で直観的に操作することが出来るか？さらに機器の使用による介護負担の軽減度合

について検証した。現場職員が使い方を理解しやすいか？満足にご利用いただけるか？また、介護負担の軽減度合いについて検証した。さらに、将来的な取り組みとして様々のセンサーやIoT等、プラスアルファの機能を持たせることで、さらに使いやすく、介護負担の軽減につながる現場の意見を得るための意見交換を実施した。



意見交換の成果

職員が直観的に使いこなせ、 見守りが行えているとの評価

今回の実証では、職員が試作した高機能ベッドを、取説を見なくても直観的に操作でき、簡単に使いこなせることが確認できた。

試作機を約3週間で利用いただいたフォレスト垂水様において5フロア、5名の介護士の方からご意見を得ることができた。どのフロアにおいても手元コントローラーによる操作を直感的に理解し、使い方をすぐに身につけられることが確認で

きた。また、現在お使いになられているマットセンサーと比較して、より正確に見守りが行えている等の状況確認もできた。さらに、機器試作機の使用により介護負担感が軽減の方向へ少しシフトしたことが確認できた。その他将来的な開発につながるアドバイスや大きなヒントを得ることができた。

ロボット介護機器等、最新の機能を盛り込めば盛り込むほど、操作が複雑となり現場で操作出来ないものともなりがちだが、今回の検証によって操作面と動作面の両方において試作機が現場のニーズを十分満たせることが確認できた。

フランスベッド株式会社

品番・型番

M2

見守りケアシステム M2

機器の概要

機器の機能

センサーがベッド利用者の体動や動作を検知し、ナースステーションに通知します。『動き出し』・『起き上がり』・『端座位』・『離床』・『離床管理』の5つの通知モードから選んで設定でき、ベッドからの転倒、転落の危険性を軽減するほか、認知症の方の徘徊による事故等の予防につながります。

販売開始 2017年5月

販売価格 オープン価格



機器の写真

機器の仕様

ベッドに内蔵された4つのセンサーが、ベッド上の利用者様の状態を自動認識、見守りが出来るベッドとなります。特に「誰もが簡単に操作、運用出来る事」に配慮しておりますので、複雑な設定等を行う事なくどなたでも簡単に操作出来る機器となっております。ベッドをナースコールと接続致しますので、利用者様

の状態で通知が必要な場合はナースコールへ正確に発報を行います。また、自動体重測定機能やWiFiを活用したリアルタイムでのベッド複数台の見守りにも対応、別売りのオプションをご購入頂く事で、部屋内の温湿度や利用者様のバイタルデータも見守る事が可能となります。

機器の貸出

必須環境・推奨環境

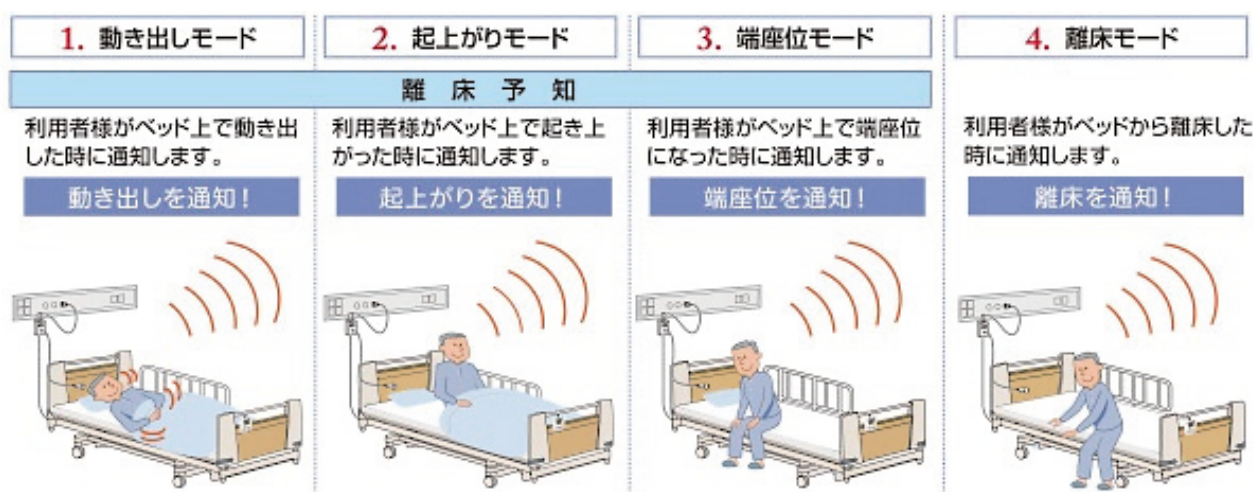
ナースコールの状況により、別途分配器をお買い求めいただく場合もあります。また、利用者様のリアルタイムの状態表示をさせるオプション機能を選ばれる場合は施設内において WiFi 環境及びパソコンが必要となります。

試用期間中のサポート

貸出先施設様の所在地の管轄営業所にてフォローいたします。

貸出期間 2 週間程度

貸出可能台数 1 台



機器の使用場面

問い合わせ先

フランスベッド株式会社

所属部署：法人企画部 法人企画課
 担当者名：千頭和重基
 〒163-1105 東京都新宿区西新宿 6 丁目 22-1
 新宿スクエアタワー 5 階

TEL 03-6741-5579
 MAIL chizuwa_shigeki@francebed.jp